



久代小地区福祉委員会 第5次地区福祉計画

地区の特徴

川西市の最も南に位置し大阪空港からの飛行ルートの直下です。地域は住宅、工場、田畑が混在していますが、大阪、神戸への交通の利便性でマンション、一戸建ての新築が増加しています。地区に県立西猪名寺公園があり、春のお花見、夏のウォーターランド、また運動施設もあり多くの人で賑わいます。福祉活動では「ふれあい」「見守り」「支え合い」活動を通じて住民の皆さまとともに、安全、安心の明るいまちづくりに取り組んでいます。

久代小地区の人口、世帯数、高齢化率

人口などの
データは
コチラ→



かわナビは
コチラ→



福祉目標

誰もが参加 つながり合える やさしい久代。

地区の重点事業



重点1

福祉活動を担う人材発掘と育成



重点2

誰もが参加できる居場所づくり



重点3

交流の場を拡げる

地区別ワークショップでの意見

- ◇子ども、男性、外国人の方等の居場所、交流の場の取り組みが必要
- ◇高齢者が多くイベントのできない自治会に出張応援する
- ◇若い人にも関心を持ってもらえるよう広報活動にSNS等も活用する
- ◇移動販売車がくることで買い物支援、交流の場になっている

第4次地区福祉計画からの課題 (平成30年度～令和5年度)

- ◇活動者の高齢化が大きな課題
- ◇広報活動の方法を考える→高齢者のためには紙ベース、若い人にはSNS活用などで広く福祉活動をアピールしていく
- ◇各自治会で分散して交流事業などを開催し、今参加できない人も気軽に行けるようにする
- ◇新しくボランティアグループを立ち上げる

現在の地区の取り組み

- ふれあいひろば「久代」
- ふれあいカフェ「くしろ」
- 福祉ネットワーク会議
- 障がいのある方との交流
- 避難行動要支援者支援活動
- 介護予防教室
- 福祉委員会広報紙発行
- ふれあいサロン(合同)
- 三世代交流イベント
- 福祉講座
- にこにこ会ボランティア会活動
- キャラバンメイト活動支援
- 子育てひろば「おうまのおやこ」・「みるく」
- 福祉委員研修会 等多数

○久代会館



福祉ネットワーク会議

開催事業

ふれあいひろば「久代」・ふれあいカフェ「くしろ」・子育てひろば「おうまのおやこ」「みるく」・福祉講座・福祉ネットワーク会議・キャラバンメイト活動・介護予防教室・三世代交流事業・「いきいきクラブ」・「訪問型たすけあい活動」

○川西南公民館



開催事業：ふれあいサロン(合同)

○東久代会館



ふれあいひろば「久代」

開催事業

ふれあいひろば「久代」・ふれあいカフェ「くしろ」・三世代交流事業・介護予防教室

○西久代会館



ふれあいひろば「久代」

開催事業

ふれあいひろば「久代」・介護予防教室・三世代交流事業

○エンゼルハイムふれあい会館



三世代交流事業

開催事業

ふれあいひろば「久代」・三世代交流事業

久代小地区の自治会

久代新生会自治会・久代自治会・北久代自治会・摂代自治会・エンゼルハイム自治会・Gパーク北伊丹自治会・東久代1丁目三葉会自治会・高芝自治会・東久代西町自治会・東久代むつみ自治会





福祉活動を担う人材発掘と育成

重点1



目的

幅広い世代の人材を発掘、育成することで、誰もが身近に「福祉」を捉え、まちづくりを推進する。

具体的取り組み

- ▶ 福祉委員会の組織のあり方について見直しをする。
- ▶ 福祉ネットワーク会議で人材発掘を協議する。
- ▶ 福祉委員会の活動を住民にアピールする。
 - ① イベント等で若者募集を行う。また、若い人にアピールするために SNS（Instagram等）を活用する。
 - ② 今まで通り、掲示板や自治会の回覧等を活用した啓発活動を推進する。
 - ③ 新規事業として訪問型助けあい活動を広く周知する。
- ▶ 育成として定期的に研修会を開催する。
 - ① 従来通り、年度初めに福祉委員を対象としたわかりやすく、楽しい研修会を開催する。



誰もが参加できる居場所づくり

重点2

目的

誰もが気兼ねなく、立ち寄れる場所があることで孤立せず安心して過ごせる環境をつくる。

具体的取り組み

- ▶ 現在ある居場所の現状維持・充実
 - ① 現在開催されている「ふれあいひろば」や「ふれあいカフェ」等を継続しつつ、住民のニーズに応じた新しい居場所づくりを行っていく。
- ▶ 参加者の特技を生かした生きがいづくり（健康麻雀、囲碁、将棋、編み物、折り紙等）
- ▶ 多世代交流ができる常設の居場所づくりを検討する。
- ▶ 誰もが気軽に集える居場所として脳トレ事業「いきいきクラブ」を初心者、女性、子どもでも参加しやすい事業として充実させる。



交流の場を拡げる



目的

今あるつながりはより大切に、また新たなふれあいにより絆を広め、みんなが顔見知りのように声掛けしやすいまちづくりを目指す。

具体的取り組み

- ▶ 買い物支援である移動販売から新たな交流を拡げていく。
- ▶ 障がいのある方との交流
 - ①障がい者の事業所と連携し、ふれあいカフェの手伝いやイベント等に参加を呼び掛ける。
- ▶ 外国人の方との交流
 - ①三世代交流イベント等に参加してもらえるように声掛けを行い、地域でのつながりができるよう働きかける。
 - ②料理等を通して、異文化交流を図る。

エンゼルハイムふれあい会館・西久代会館での初めての三世代交流イベントでは、子どもから高齢の方まで多くの参加がありました。子育て世帯や初めて参加される方も多かったです。今後も、地区ごとの特性を考慮しながら継続し、交流の場を拡げていきます。

～三世代交流イベントの様子～



エンゼルハイムふれあい会館



西久代会館



東久代会館での移動販売

久代小地区 地区別ワークショップ及び地区福祉計画策定検討会議

日 程		内 容	
▶ 令和5年	7月14日(金)	地区別ワークショップ	開催
▶ 令和5年	11月28日(火)	策定委員会	開催
▶ 令和5年	12月 1日(金)	福祉ネットワーク会議	開催
▶ 令和5年	12月20日(水)	策定委員会	開催
▶ 令和6年	1月18日(木)	策定委員会	開催
▶ 令和6年	1月30日(火)	策定委員会	開催
▶ 令和6年	2月 9日(金)	策定委員会	開催
		策定委員会	開催

□策定委員

高木清美、越智武司、木部美代子、本田美代子、戸川ひろ子、地頭所久恵、向山幸代

久代小地区福祉委員会地区福祉委員会事業一覧表

事業名	区分	内 容
	新規・重点	内容、回数、定期開催の場合は曜日
ふれあいひろば「久代」	重点	お茶会（健康体操や歌など）。毎月水曜日開催。西久代会館（第1）、久代会館（第2）、東久代会館（第3）、エンゼルハイムふれあい会館（第4）
ふれあいサロン（合同）	継続	年1回地域の一人暮らしの65歳以上の方対象に開催。懇談・会食・余興・ビンゴなどで楽しく過ごしていただく。
福祉講座	継続	福祉意識の向上。人材育成につなげていく。
福祉ネットワーク会議	継続	住民の福祉ニーズの把握。情報交換など
ふれあいカフェ「くしろ」	重点	毎週（木）13：30～15：30 久代会館 第1・2・4・5 （水）13：30～15：30 東久代会館 地域の方の居場所づくりとして平成28年オープン。
障がいのある方との交流	重点	現状把握と福祉委員の勉強会・認識の共有など。
避難行動要支援者支援活動	継続	災害時安否確認支援（コミュニティ協議会と連携）
福祉委員会広報活動	重点	福祉活動の紹介・報告。広報紙年1回3000枚印刷。毎月自治会回覧。掲示板にてイベントなど発信。
訪問型たすけあい活動	新規・重点	「ちょこっと。スマイル」によるボランティア活動。
キャラバンメイト活動支援	継続	認知症サポーター養成講座開催など。
介護予防教室	継続	いきいき元気倶楽部（川西南地域包括支援センターを中心に実施）
子育て支援「みるく」	継続	毎月第2・4（金）10：00～11：30 久代会館。0～1歳半の子どもとその保護者対象。親子体操や絵本の読み聞かせなど。
子育て支援「おうまのおやこ」	継続	毎月第4（月）10：00～12：00 久代会館。未就学児とその保護者対象。ママたちのおしゃべりルーム。
部会活動助成	継続	各自治会でひとり暮らしの高齢者との交流会を開催する。
寝たきり老人お見舞い	継続	年1回民生委員・児童委員が家庭訪問し見舞品を贈る。
福祉委員研修会	継続	福祉委員の資質向上をはかる。
三世代交流事業	重点	各会館4か所開催。交流の場づくり。
脳トレ事業「いきいきクラブ」	新規・重点	麻雀、囲碁、将棋を通じた交流、居場所づくり。